



深山たかし

発行元：深山たかし後援会
 上尾市大字上1774-7
 048(776)0575
 fukayama-sov@jcom.home.ne.jp
 ホームページは検索サイト
 ”深山たかし”で閲覧できます。

議会りポト

民生委員の負担軽減について

今年、平成二十八年は、三年任期の民生委員の一次改選の年でもあり、後任者の人選にも考慮されている事務区も多いように伺っております。

今回一般質問にあたり、何人もの民生委員さんから活動状況を伺うことが出来ました。一番多く聞かれた事は、時間的な拘束と心理的な負担が多いとの意見でした。

上尾市では今回の改選から民生委員の定数が三十四名から三十一名と増員にりますが、増員をすれば民生委員の仕事量が減少する話しではなさそうです。職務内容を見直し、

民生委員の負担軽減を急ぐ必要性を強く感じました。

【答弁抜粋】

急速な高齢化や単身世帯、核家族化など家族形態の変化、近所付き合いの希薄化など、社会情勢がめまぐるしく変化しています。そのような中で、民生委員・児童委員に求められる役割や期待は、ますます高まっています。ところでございます。特に近年では、生活困窮者自立支援制度への対応や、児童虐待などから子どもを守る取り組み、消費者被害の防止など、民生委員活動の困難さが増し、課題が

複雑化・多様化しております。

地域での福祉活動が民生委員さんに集中してしまい、活動を見ていない市民の方は、民生委員活動は非常に負担が伴うものと感じ、民生委員になることを敬遠してしまうという話も伺っています。

民生委員の皆様が、今後も地域福祉の要として活躍いただくために、活動内容を精査し、市との連携を強化するなどして、負担軽減を図ることが急務であると考えています。

今年度当初から健康福祉部各課の地区担当職員と民生委員さんとのスムーズな相談・協力体制を構築させ、民生委員さんが一人で懸案を抱え込むことなく、安心して活動に従事いただけるよう努めています。また、民生委員さん向けのメンタルヘルス研

修の開催や、不安事・心配事などを気軽に相談できるサポート体制を整えていきたいと考えています。

さらに、市の各部署や社会福祉協議会からの依頼事項についても、本来の民生委員活動に支障を及ぼしすぎないよう業務内容の見直しを行っていきたいと考えています。

そして、新しい取組といたしまして、「民生委員協力員制度」の導入について、これは、民生委員活動の支援を行う協力員を、民生委員とは別に配置するもので、すでに東京都などで導入されています。本市としても、民生委員の皆様とともに連携し、安心して生活できる地域づくりを推進していくために、このような仕組みを活用できるよう、引き続き調査・検討していきたいと考えています。

新図書館 複合施設

九月議会に、新図書館複合施設の建設予定地取得に関する議案が上程され、賛成十七・反対十二で原案通り可決成立されました。「広報あげお九月号」四ページ・五ページの特集記事で図書館概要も示されており、ご参照願います。十月号でも特集記事を掲載予定です。



学童保育所の 施設整備

老朽化した学童保育所の整備計画について聞きました。

市では、平成十四年に定めた学童保育所設置に関する基本方針に基づき学校敷地内への移転整備を進めており、今年度、平方北小学童保育所を新築移転することにより、長年の課題の一つであった一学校一学童の整備が達成されます。

今後については、学校敷地外にある学童保育所の通所の安全性、民有地の借用状況、施設の老朽化といった総合的な観点から判断し、教育委員会と連携し、余裕教室等の活用も視野に入れながら学校敷地内への移転整備を順次進めていきたい。

環境対策について

住民のリサイクルに対する理解も進み、啓発活動が功を奏していると感じている。

市の総資源化率は、これは総資源化量を総ごみ発生量で割ったものですが、計画策定時の目標には及ばないものの、市民の皆様、事業者の皆様のご理解、ご協力を得て、リサイクル活動に取り組みいただきました結果、平成二十一年度十六・八%だったものが、平成二十七年は十七・九%と増加することができました。

日本脳炎の 予防接種

千葉県の小児科医学会や医師会は接種の時期を大幅に早めて生後六か月から受けるよう自

治体と連携して広く呼びかける取り組みを始めた。そこで、上尾市でも検討いただきたい。

【答え】

市が行っている定期の予防接種につきましては、厚生労働省の定期接種実施要領に基づき実施しています。

そのため日本脳炎の予防接種につきましても標準的な接種期間として、初回の接種を三歳に達した時から四歳に達するまでとお知らせしています。

しかしながら予防接種法施行令では「生後六月から生後九月に至るまでの間にある者」と定められており、本市でも生後六か月から定期接種と接種することが可能です。今後はワクチンの供給量などを勘案しつつ、上尾市医師会と協議していきたいと考えている。

投票率向上対策

投票率の向上に向けて、投票区域の見直す考えはあるか。また、高齢者や障がい者への対応はどのように考えているか。

投票区域については、現在四十投票区に分かれています。市民から投票所を徒歩でも行ける場所に設置してほしいとの要望がありました。人員や費用、投票所として適切な施設の確保など多くの問題があり、すべての投票区域を変更することは難しい状況ですので、区画整理や道路に分断された箇所など個別に対応していきたいと考えている。

また、高齢者や障がい者への対応につきましては移動支援の対策を行なっている自治体もありますので他の市の事例など研究するとともに、投票率の向上に向け、期日前投票所の拡大などを含めて投票しやすい環境を作っていきたい。